

小野二郎 詩、英文學者、編輯者。昭和四年八月十八日東京高圓寺生
れ、五十七年四月二十六日歿（一九二一—）。昭和二十年東京大學教養
學部教養學科イギリス分科卒。二十三年大學院修士課程修了後、出版
社弘文堂に入社し「現代芸術論叢書」等を企劃編輯。翌年吉田熙生等
と同人雑誌『文科』を創刊。二十五年弘文堂を退き晶文社を設け、歿
時まで編輯擔當役責を務める。明治大學文學部教授。

著書に『ユートピアの論理』（昭和四十四年十一月二十日晶文社）、
『運動としてのユートピア』（昭和四十八年六月二十日晶文社）、『ウ
イリアム・モリス—ステューデン・デザイン—の思想』（昭和四十八年九
月二十五日中央公論社「中公新書」）、『装飾芸術—ウイリアム・モ
リスとその周辺』（昭和五十四年四月二十日青土社）、『紅茶を受皿
で—イギリス民衆芸術覚書』（昭和五十八年二月二十日晶文社）、『ユ
ートピアンの発語訓練』（昭和五十六年五月二十日晶文社）、『ジョー
コン・エツグの背景』（昭和五十八年四月二十日晶文社「犀の本」）
その他、譯書にヘルベルト・マルクーゼ著『解放論の試み』（昭和四十
九年一月二十九日筑摩書房）、ウイリアム・モリス著『世界の別なた
り森』（昭和五十四年十月十五日晶文社「文学のおくりもの」）等。
また『大きな顔—小野二郎の人と仕事』（昭和五十八年四月二十日晶
文社）があり、雑誌『ポイエーシス』

第六號（昭和五十九年四月十日ポイエ



ーシス同人会）は、

へ小野二郎追悼特

集。

